

令和4年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業 活動紹介 ①

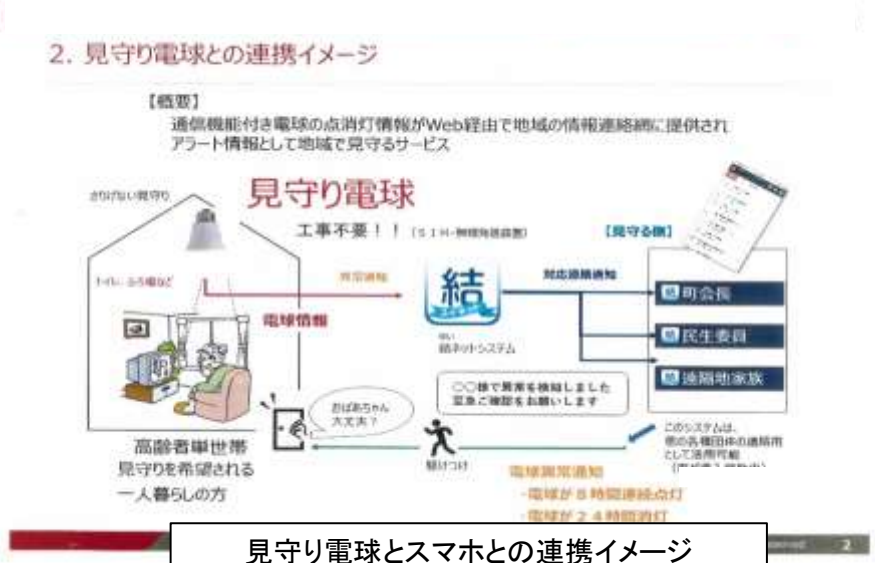
|      |                        |
|------|------------------------|
| 事業名  | 安心、安全に暮らせる一木のまちづくり【新規】 |
| 団体名  | 一木地区町内会                |
| 活動地区 | 一木地区                   |

活動紹介（事業の概要）

高齢者の見守りによる日常生活での事故の未然防止及び早期対応に資するため、一人暮らし高齢者宅に通信機能付きのIoT電球をトイレ等に設置し、点消灯情報がWeb経由で見守りチームのスマートフォンに通知するシステムの実証実験を行いました。事故を未然に防いだことや対象者と見守りチームとの信頼関係の構築につながりました。

【活動内容】

- ・見守りチームの検討会を開催（民生委員8人、町会長5人、親族18人）
- ・IoT電球による見守りを希望する高齢者に対する説明会を開催
- ・見守りを希望する対象者40名
- ・見守り隊の実出動件数47件、救護件数3件



見守り電球とスマホとの連携イメージ



説明会



アプリ画面・履歴

令和4年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業 活動紹介 ②

|      |  |
|------|--|
| 事業名  | ロボットのプログラミング教室 ー千代野地区・御手洗地区ハックー【継続3年目】 |
| 団体名  | A I 時代のためのプログラミング会                     |
| 活動地区 | 御手洗地区                                  |

活動紹介（事業の概要）

地区の小学生が夢を持ってA I時代に成長するように、地区の高齢者が勤務時代の経験を生かして指導役となり、プログラミングの普及に取り組みました。令和4年度はこれまでの御手洗公民館や徳光町の明證寺に加えて、千代野公民館でもプログラミング教室を開催しました。また、千代野小学校と連携してパソコンクラブでの体験会や教職員向けの研修会を開催し、さらに地区住民を対象に金沢工大や市内企業からもプログラミングに関する講演会を行い、プログラミングの啓発と世代間交流につなげました。

【活動内容】

- ・夏、秋、冬、春プログラミング教室 計10回実施 参加児童数 計49人  
徳光海岸の危険場所のデジタルマップやライトレースカーなど
- ・御手洗文化祭での体験会
- ・千代野小学校パソコンクラブでの体験会 計3回実施 計61人
- ・千代野小学校教職員向け研修会 8人
- ・講演会（交流会）3回開催 計113人



千代野小パソコンクラブでの体験会



明證寺での教室

令和4年度 ロボットとプログラミング  
子供と大人の交流会のお知らせ

**プログラ  
ミング**

日時 3月25日(土) 午前10時～11時30分  
場所 御手洗公民館 多目的ホール (0176-279-1221)

※70歳以上の仕事ってどんなことするの? ソフトウェアエンジニアと工場の組仕事 -  
講師 中野健太郎(株) オペレーションソフト設計課 大矢 潤祐 氏

※わかる、あそび、プログラミング。ー プログラミングって君が楽しいねんてことはない!  
講師 一般社団法人FAPI 代表理事 渡辺 正樹 氏

※小学生からお年寄りまで誰でも行うプログラミングおもちゃづくり (3歳でのIT入門講座)  
講師 大矢 潤祐氏、渡辺 正樹氏、岡田 泰 氏(金沢工業大学 教授)

※活躍の真実の舞台裏からロボット  
講師 金沢新機いっせいプログラミング石川義典氏 著作 入賞  
千代野小学校5年生 野本 悠貴 君

対象 御手洗地区・千代野地区にお住まいの皆様 (小学生・保護者・高齢者)  
千代野小学校・近隣の小学校1年生～5年生・中学生・高校生も対象です  
※申し込みは不要です ※マスク着用で御手洗公民館にお越し下さい

主催 AI時代のためのプログラミング会  
白山市市民提案型まちづくり支援事業

チラシ

令和4年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業 活動紹介 ③

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 事業名  | 鶴来地区の歴史・伝承の掘起しと次世代への継承・普及【継続2年目】 |
| 団体名  | つるぎふるさと民話の会                      |
| 活動地区 | 鶴来地区                             |

活動紹介（事業の概要）

鶴来地区の歴史や伝承を次世代へ継承するため、歴史書を紐解くことやモニターツアーの開催、地元住民から聞き取りなどの調査を行いました。石仏や石造物についてはマップを作成して、鶴来地域内の小学校や観光連盟、公民館、児童館に配付し、祭料理については後世に繋げるためレシピを作成しました。また、調査で得た情報をもとに今後の紙芝居の題材に活用することも検討しています。

【活動内容】

- ・鶴来地区の「かくれた話」（講演会・聞き取り会）3回 115人参加
- ・石造物巡りモニターツアー 2回 33人参加
- ・「つるぎ石仏・石造物マップ」を作成し、観光連盟や公民館、児童館に配付
- ・祭料理の代表的な3種（笹寿司・寒天・かっちり豆）のレシピ作成



講演会・意見交換会



モニターツアー



つるぎ石仏・石造物マップ





|      |                    |
|------|--------------------|
| 事業名  | アサギマダラの里づくり【継続2年目】 |
| 団体名  | 白山ろく里山活性化協議会       |
| 活動地区 | 尾口地区               |

活動紹介（事業の概要）

道の駅瀬女に隣接する耕作放棄地を活用し、「アサギマダラの空の駅 白山」としてに賑わいづくりに取り組みました。令和4年度はアサギマダラが好むフジバカマの畑を拡大して飛来数増加に努めた結果、マーキングしたアサギマダラの飛来情報が広島や宮崎、山口のほか台湾などからもありました。また、道の駅瀬女や国際高専とも連携して取り組むことで、地域一体で「アサギマダラの里づくり」の機運を盛り上げました。

【活動内容】

- ・新たに耕作放棄地1面をフジバカマを植える。
- ・アサギマダラ写真展を道の駅瀬女で2カ月開催。
- ・マーキング調査体験会を開催 31名
- ・国際高専生徒がアサギマダラのキーホルダーを作成
- ・小学生向け教本を作成し市内小学校に配付。



フジバカマに止まるアサギマダラ



アサギマダラの教本



道の駅瀬女での写真展

**アサギマダラ どこまで渡る？**  
白山でマーキング調査

アサギマダラの羽に印をつける参加者  
白山市瀬白

白山ろく里山活性化協議会では発信し取り組んでいる。会などは23日、白山市瀬戸のフジバカマの花畑で、長距離を移動する渡りチョウ「アサギマダラ」のマーキング調査を実施した。県内を捕まえ、羽に日付や場所などを記して空に放った。協議会やアサギマダラファンクラブ白山のメンバーが昨年、約1600平方メートルの耕作放棄地にアサギマダラが好むフジバカマの植栽を続け、「アサギマダラ空の駅・白山」と銘打った。会場では国際高専生徒がアサギマダラの羽を模したキーホルダーなどのオリジナル商品は販売した。

野々市小1年の倉本美佑さん(6)は「うまく捕まえることができました。家に持って帰りたいくらいかわいい」と笑顔を見せた。

フアンクラブの中村明男代表によると、今年は気温が高いため、例年に比べて飛来が10日ほど遅れているという。この日は約100匹が捕獲された。

令和4年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業 活動紹介 ⑤

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 事業名  | 美川の文化を伝える紙芝居の作成－郷土の文化継承と地域の絆づくり－【新規】 |
| 団体名  | 美川おはなし会                              |
| 活動地区 | 美川地区                                 |

活動紹介（事業の概要）

地区内の各種団体と連携しておかえり祭りや地域に伝わる民話の紙芝居を制作することで、地域への誇りと愛着を醸成するとともに”チーム美川”の絆を深めることができました。また、3月の完成披露会を開催した結果、学校や高齢者施設からの上演依頼があり、おかえり祭りの機運の盛り上げに寄与しています。

【活動内容】

- ・紙芝居文章の検討会 2回
- ・地元画家との打合せ 6回
- ・紙芝居音響の打合せ 1回
- ・完成披露会 3/14



紙芝居文章の検討会



おかえり祭り紙芝居

## 美川の伝承 紙芝居に

### 「おかえり祭り」「景龍」題材

白山美川地域の伝統文化を継承し、地域に誇りと愛着を醸成するとともに「チーム美川」の絆を深めることを目的として、同市美川地区の継承団体の発案で、美川おはなし会が「おかえり祭り」の紙芝居を制作した。おはなし会が14日、美川公民館で地元住民ら約1千人に初めて披露した。（白山尚志）

おはなし会は2004年、美川地域の住民らが新団体の結成を志し、2014年に20周年を迎えるまで、10年以上の歳月をかけて制作した。昨年4月から初めてオリジナルの紙芝居制作を開始した。メンバーは継承団体「おかえり祭り」の関係団体、住民らに聞き取り、音響効果も専門家に依頼し、広瀬孝子さんが描いた表紙と音響とともに、内容をもとめて2月上旬に完成させた。

制作した紙芝居の「美川おかえり祭り」では、1日間にわたる祭りの様子や祭りの準備の様子、2日目の「景龍」の舞臺「景龍」が舞い上がった自分たちの心象で、準備と披露を地域の子どもたちに教えるという両市連携の紙芝居を描いた。

披露したおかえり祭りの紙芝居は、美川地区の小学校や中学校、公民館など、地域の様々な場所や、歌声を聴かせることで、地域の絆を深め、地域の誇りを醸成する。おはなし会は「おはなし会」の活動を通じて、地域の絆を深め、地域の誇りを醸成する。おはなし会は「おはなし会」の活動を通じて、地域の絆を深め、地域の誇りを醸成する。

### 地元おはなし会が制作

北陸中日新聞 (R5. 3. 15)